

もり  
の自然こどもえん東本梅

＝原体験から『生きる力』を育む＝

自然の大きさ、美しさ、不思議さに直接触れる体験を通して、豊かな感性、好奇心、思考力、表現力などを培い  
困難にも挑戦し幸せな人生を歩むための土台を作る。

水

水は流れたり、色が付いたり、粒になったりと形や色が変わります。子どもたちは、遊びの中で様々な発見をし、試しながら楽しんでいます。

また、川に入ると、水の流れや冷たさを体で感じ、歓声をあげ遊んでいます。



土

土は恵みの大地で、さまざまな生命を育みます。畑で野菜を育て収穫することを喜び、食べることを楽しんでいます。そして、土を掘りおこすと、色々な生き物と出会います。そこには驚きと面白さがあります。

崩れた築山を自分たちで土を運び直しました。

## 風

頬を撫でる風はやさしく、時に飛ばされそうになるほど吹く風は強く。子どもたちは時々風と対話をしています。ざわざわと揺れる竹林の様子を見て「うわー風が強い」「倒されるー」「こんな風では倒れませーん」子どもたちは風を感じ遊んでいます。



## 空

雨上がり空、夕方の空、雪の日の空を見あげると、美しさに心が躍ります。時間や季節ごとに変わる空に、子どもたちは魅力を感じています。

空高く飛んでいる飛行機をよく見かけます。子どもたちは飛行機を見つけるのが得意です。



自然に触れ、見たり、考えたり、扱ったりする中で、発見を楽しんだり、遊びや生活に取り入れようとする姿があります。自然環境は、子どもたちの好奇心や探求心をくすぐります。そして今、子どもたちが出会う物事のひとつひとつが、やがて周りの人と一緒に、考え、工夫し、新たなアイデアを生み出す豊かさにつながります。